

めざせ! 那須烏山市 ジオパーク



市では、那須烏山市全域をジオパークに設定し、貴重な地層・岩石・地形・地質やさまざまな自然遺産、人々の暮らしや文化、歴史遺産などを有機的に結び付け、今ある地域資源を大切に保護しながら、教育や科学の普及、これらの遺産を活用した観光振興、地域振興などを目的として、那須烏山市ジオパークの認定を目指しています。

今月号では、ジオパークの概要や本市のジオサイト（自然・文化的みどころ）や、今後の取り組みを紹介します。

ジオパークとは…？

ジオパーク（英名：geopark）という言葉は、「geo（地球・大地）」と「park（公園）」を合わせた造語で、「大地の公園」とも訳されています。

ジオパークとは、地球に関わるさまざまな自然遺産、例えば、地層・岩石・地形・火山・断層などを含む自然豊かな「公園」のことです。山や川をよく見て、その成り立ちに気付くことから始まり、生態系や人々の暮らしとの関わりまでをつなげて考え、地形地質などの保護と活用を図りながら、この地域の素晴らしさを伝える場所です。

つまり地球を丸ごと考える場所がジオパークです。

世界ジオパークと日本ジオパーク

ジオパークには、「世界ジオパーク」と世界ジオパークの日本版として「日本ジオパーク」があります。

世界ジオパークは、2004年から

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が支援している「世界ジオパークネットワーク」が認定する地域です。2014年9月現在で、32カ国111の地域が認定を受けており、国内では7地域が登録されています。

一方で、日本ジオパークは、2008年から「日本ジオパーク委員会」が認定する国内版のジオパークです。2015年5月現在、29の地域が認定され、近隣では、磐梯山、茨城県北、下仁田、秩父、銚子などが登録されていますが、栃木県内では、まだ認定された地域はありません。

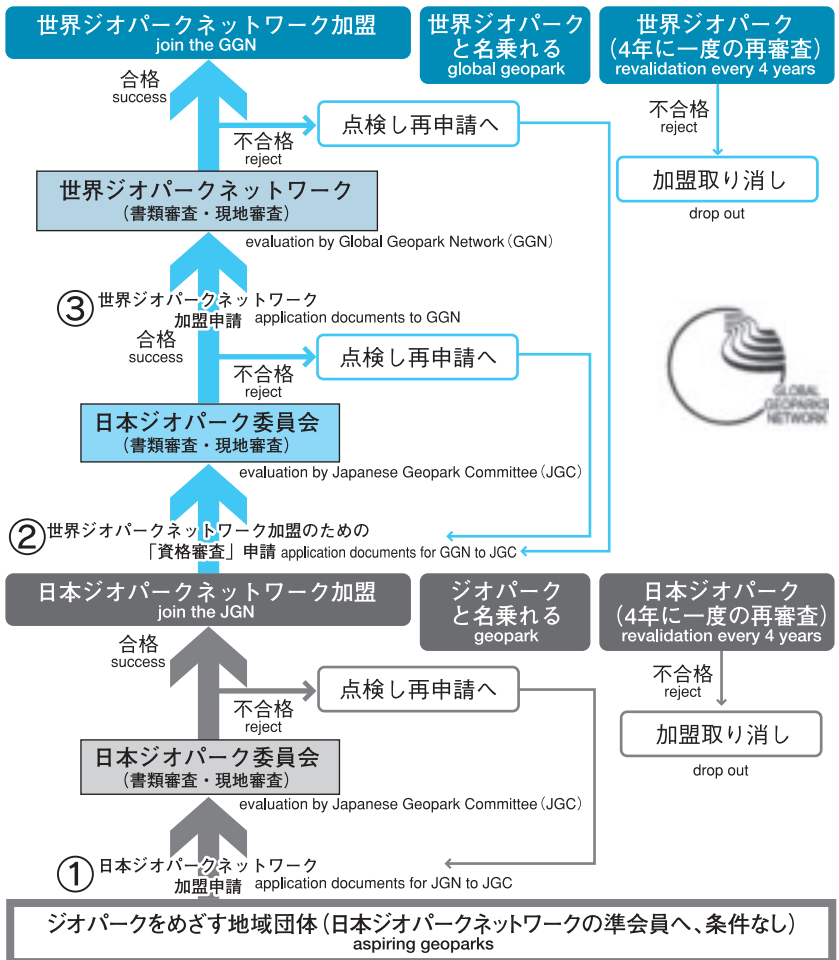
なお、ジオパークに認定されるまでの仕組みは下図のとおりです。

人々の暮らしに根付くジオパークとジオサイト

本市は、大地の恵みから生まれた様々な地質資源や歴史的遺産が数多く存在し、人々の暮らしとともに息づいています。

今から約1200万年前の地層から

図：ジオパークになるためには

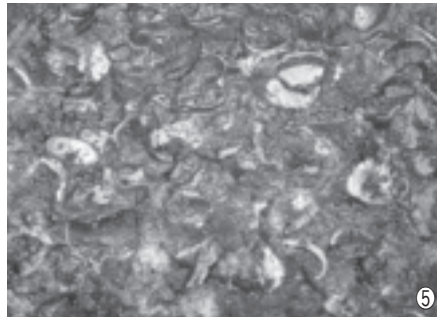


市内にあるジオの見どころ

「那珂川の蛇行地形と丘陵」…市内を流れる那珂川は、荒川同様、河川改修されずに川が蛇行して流れている箇所が多く残っています。

「大金クジラ発見地」…昭和53年、荒川で道路橋脚工事中に発見され、栃木県

発見された「大金クジラの化石」や「貝化石」の産出、「シモツケコウホネ」の自生など、資源も地域おこしの活性剤として十分に活用が期待できます。これらの岩石や化石の地質露頭、河岸段丘崖や滝、川の蛇行等の見どころとなる場所を「ジオポイント」と呼び、いくつかのジオポイントが集まり、人々の営みも含めた大地の歴史の物語が見えてくるエリアを「ジオサイト」として設定



①那珂川の蛇行地形と丘陵 ②大金クジラ発見地(栃木県立博物館提供) ③クジラの化石発見当時の発掘の様子 ④地層が途切れることなく見られる荒川 ⑤密集する貝化石 ⑥この地域によく見られるムカシチサラガイの化石 ⑦本市の10ヶ所以上ある滝のうち最も大きい「龍門の滝」 ⑧シモツケコウホネの自生。

立博物館建設準備班が調査に携わりました。

第三紀中新世、荒川層群の中の大金層の地層約1200万年前の中から発見され、ヒゲクジラの仲間であることが判明しました。

荒川層群は、堆積した時期により、古いものから小埴層、大金層、田野倉層、入江野層に分けられます。この地域が海であった頃の始まりから終わりまでの地層を途切れることなく見ることが出来る貴重な場所となっています。大金層からは、他のクジラ類やアシカやオットセイの仲間の化石も見つかっています。

また、発見当時の昭和54年1月には、荒川小学校の児童と烏山女子高等学校の生徒が発掘現場を見学しています。

「貝化石」：荒川層群の地層中には海産性の貝化石が見られる層がいくつかあり、市内の各地に露頭が見られます。この地域でよく見られる貝化石としては、ムカシチサラガイは特徴的であり、大金層・小埴層の中から見つかっています。

「龍門の滝」：本市には、平地にもかかわらず、大小さまざまな滝が10ヶ所前後見られます。特に龍門の滝は、平地では稀に見える大きさであり、その成因は解き明かされていません。

「シモツケコウホネ自生地」：シモツケコウホネは、世界中で栃木県内の数箇所ではしか生き残っていない水草です。

種の保存法(正式名称・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律)で罰則も定められ、保護されています。

保護しながら 教育や観光に活用

ジオパークは、地域の宝を後世に残したいと思えるように子どもたちを育む教育や、地域住民の手で大切に保護していく地域づくり、来訪者に温もりのあるおもてなしを展開する観光など、幅広い活用が期待されます。

持続可能な地域の活性化 交流人口の増加を目指す

ジオパークには、ジオパークの魅力を伝えるために、ガイド(解説員)が重要な役割を担っています。

地形や地質、その上に形成された歴史や文化などを体感し、学ぶことを主としたツアーを「ジオツーリズム」、「ジオツアー」と呼びます。

地域住民がガイドとなり、ツアー参加者と交流を図りながら解説することで、また訪れたいくなる、人に教えたくなる場所となり、交流人口の増加へと繋がることを期待されます。

このような活動をおして地域経済が活性化し、さまざまな人がジオパークに関わることで持続可能な地域振興に役立つことを目指しています。

ふるさとの魅力を再発見 生徒と考案したジオパークが現実



南那須中学校教諭

星康彦さん

私がジオパークの調査をしようと思ったきっかけは、平成19年に旧下江川中学校に赴任した当時の校長先生からの一言でした。そこで新種登録されたばかりの「シモツケコウホネ」と出会いました。研究調査のメンバーは、当時卓球部の顧問をしていたこともあり、卓球部員中心の特設科学部（卓球科学部とも呼んでいました）の生徒でした。

コウホネ調査を進めていくうちに、私が地学を専門にしていたこともあり、化石や地層の調査などもはじめました。そこで、大自然からそこに暮らす生き物と人々までを一つにして考える「ジオパーク」に出会いました。また、県立博物館との連携事業「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」(SPP)というプロジェクトも進めました。

平成22年に県立博物館で行われた「あつまれ！自然好き」で、下江川中周辺のジオサイトを調査した「下江川ジオパーク構想」を発表。その後も活動の範囲を広げ、翌年23年には市内全域を調査した「那須烏山ジオパーク構想」として日本地質学会水戸大会でも成果を発表しました。その活動は、市内はもちろん長期休み期間中には、生徒たちと日光市や佐野市へ実際に足を運び、那須烏山市との違いなどを比較調査しました。

現段階では、旧下江川中の生徒たちが考案したジオサイトは6つです。しかし、これからできる「那須烏山版ジオパーク」にこれらがすべて追加されるかどうかはわかりませんが、自分たちが理科研究としてやっていたジオパーク構想が、実現すると思うととても楽しみです。

また、活動を通して、生徒たちが「自分の『ふるさと』にこんなすごいものが残っているんだ」と那須烏山市の『魅力』を再発見するきっかけにもなりました。この発見は、『誇り』となって生徒たちの心の中に生き続けてくれればうれしいです。

今後は、現在の勤務先でもある南那須中でも生徒とともに、引き続きジオパークの研究調査活動を進めていきたいです。

平成29年度の加盟に向けて 本格的な準備へ

昨年度は、栃木県立博物館や宇都宮大学の協力を得て、「ジオパーク」の普及啓発を図るため、化石や市内に生息する動物や、植物などの講座、宇都宮大学の案内によるジオサイトバスツアー、ジオパークの研究に市内でいち早く取り組んだ下江川中学校(当時)の生徒や、宇都宮大学の学生によるジオパーク研究発表会など、各種事業を実施しました。

今年5月には、栃木県立博物館の職員や宇都宮大学の教授、地学や地形地質の有識者、活動団体(市内の自然保護や地域おこし団体)の代表者や中小高校の教員、各種関係団体により構成される「那須烏山市ジオパーク基本構想等検討委員会」を立ち上げ、市ジオパークの基本構想及び運営計画などの検討を進めています。

今後、市ジオパーク構想教室などで、ジオパーク周知活動やボランティア・ガイドの養成、パンフレット・マップの制作などを行い、平成28年度に「(仮)那須烏山市ジオパーク推進協議会」を設立、翌29年度に日本ジオパークネットワークに加盟するための準備を進めることとしています。

認定に向かって 市民がつくるジオパーク

ジオパークの保護や活用には、地域



11



10



9

9 宇都宮大学生の案内によって行われたジオサイトバスツアー 10 ジオパークの研究に取り組んだ下江川中の生徒たち 11 市ジオパーク基本構想等検討委員会による第1回検討委員会。

の皆さんのご理解とご協力、ジオパークへの積極的な参加が不可欠です。市では、今後各地でジオパークの説明会の開催やガイドの養成も行っていきたいと考えています。今後開催が予定されている教室、ボランティアやガイド養成講座などにぜひご参加ください。

今後のイベント

今まで知らなかった市の魅力を再発見し、市内外の方々にその魅力を発信してみましよう。

◎博物館へ行こう(栃木県立博物館市町連携事業)

・日時…8月2日(日)

午前9時～午後4時

・内容…栃木県立博物館企画展

「川のあるくらし」栃木の漁師の玉手箱「見学と大型化石展示の学芸員による解説・化石発掘体験(室内)」

◎那須烏山市ジオパーク構想教室②

(栃木県立博物館市町連携事業)

・日時…8月8日(土)午前10時～正午

・場所…烏山公民館

・内容…「那珂川の水系の魚類と漁法」

・講師…栃木県立博物館 篠崎茂雄氏

◎ジオサイトバスツアー

・日時…11月予定



13



12

12化石や市内に生息する生き物、植物などの講座 13市役所南那須庁舎で行われた化石の展示会 14市内の自然遺産を巡るおもしろ探検隊。



14

・内容…市内のジオサイト見学

◎ジオパークの集い

・日時…12月予定

・内容…ジオに関わる団体や個人の活動報告や情報交換、交流会

動報告や情報交換、交流会

◎ジオパークボランティアガイド養成講座(全3回)

・日時…11月～平成28年1月予定

■問合せ

文化振興課 ☎0287-88-6224

課題は「身近な自然を理解すること」 素晴らしい自然を人々に伝える



基本構想委員会委員長
ジオパーク検討委員会
青島睦治さん

みなさんは、那須烏山地域には特色ある地形があり、化石が豊富な場所だということを知っていますか? 「大金クジラ」や「貝化石」の産出、「荒川の穿入蛇行地形」など、この地域には、とても興味深い場所や物がたくさんあります。以前、県立博物館に勤務し、地質学を専門にしていた私は、この周辺地域の地形や地質についても長く調査をしてきました。

例えば、荒川に面した崖にある十二口横穴墓群付近に流れ込む沢沿いに、300メートルにわたって見られる貝化石を大量

に含む地層や、河川によって作られた滝は、これから選定していくジオサイトのみどころの一つとなっていくと思います。特に滝については、有名な「龍門の滝」だけでなく、この地域には、たくさん滝があります。しかも、日光などに多数ある山地の斜面にできた滝ではなく、「平地にできた滝」なのです。このようなことはとても珍しく、注目するポイントの一つだと思います。

しかし、問題は、この貴重な自然をどう保全し利用していくかということです。まずはその地域に住んでいる市民が身近な自然に興味を持ち、自然とともに生きてきた人々の営みを振り返ってみることが必要だと思えます。私たちの活動がそのためのきっかけづくりになればよいと思います。そして、市民自らが発見した郷土の素晴らしい点を広く世の中に発信していきたいと考えています。



合併10周年記念

ロゴマーク完成

市では、合併10周年を記念し、3種類のロゴマークを制作しました。ロゴマークには、市を象徴する特産品などが描かれ、今後、様々な事業で活用していくこととしています。

なお、ロゴマークを各種団体等で使用する場合は、「合併10周年の記念につながるもの」「本市のPR効果が期待されるもの」が基準となります。希望する場合は、使用申請書を提出してください。詳しくは、総務課 ☎ 0287-83-1111 まで問い合せてください。

また、10年の歩みを年表にしたパネルを制作しました。7月は烏山庁舎、8月は南那須庁舎で展示する予定です。ご覧ください。



10周年記念パネル。

明るいまちづくりを目指して 営業戦略推進部隊が始動

市では、喫緊の課題である人口減少問題を解決するため、若手職員31人で構成する「営業戦略推進部隊」を設置しました。

これは、まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の策定のため、方針決定や総合調整を行う庁内組織「那須烏山市総合戦略本部」とは別に、庁外に向けて実践活動（セールス活動）を行う攻めの部隊として設置したものです。同推進部隊では、「定住促

進班」と「魅力発信班」の2班に分かれ、重点的に促進を図ります。

大谷市長は、「若者らしい魅力ある提案に期待している。そして、単発ではなく継続的に続けていきたい」と話していました。今後は、それぞれの班で、空き家バンクの充実や企業誘致、各種イベントに参加し観光PRをするなど積極的に活動していくこととしています。



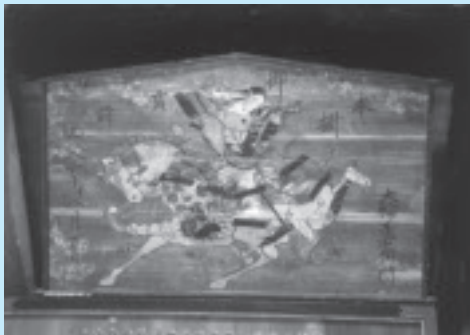
第1回営業戦略推進部隊の会議。

シリーズ 市の文化財 第51回

市指定有形民俗文化財

ともえごぜんえま

巴御前絵馬（下境）



稲積神社に奉納されている絵馬です。縦60cm、横120cmの板に、馬上の女性武者が鎧武者と組み合う場面が描かれています。作者は不明ですが、「元文三年八月吉日 大輪甚右衛門」の墨書きがあり、元文3年(1738)に奉納されたことが分かります。

女性武者は、源平合戦で活躍した巴御前がモデルと推測されます。「平家物語」には、寿永3年(1184)、宇治川・瀬田の合戦に敗れた木曾義仲との別れ際、巴御前が義仲への最後の奉公として、追撃してきた敵将を討ち取り一人東国へ落ちていくという描写があり、その場面が描かれていると思われます。



27年度予算を補正、6条例を一部改正

江川小学校の改修工事請負契約締結を可決

平成27年第4回那須烏山市議会6月定例会が6月2日(火)から9日(火)までの8日間の日程で開かれ、平成27年度補正予算や条例の改正など11議案が原案どおり可決されました。そのほか、報告案2件を報告し、請願書1件と、陳情書5件のうち1件が採択されました。また、議員発議により意見書の提出について可決されました。主な内容は次のとおりです。

なお、詳しくは、議会事務局 ☎ 0287-8817114 までお問合せください。

議決事項

江川小学校の改修工事(建築工事)請負契約を2億2140万円で、荒井・荒川特定建設工事共同企業体と締結することになりました。

平成27年度予算を補正

平成27年度一般会計予算の歳入・歳出をそれぞれ1億6402万9千円増額し、補正後の予算総額を118億5702万9千円としました。主な内容は、畜産復興費として高収益型畜産体制構築のため畜産関係者協議会への補助金6582万8千円、昨年度に引き続き実施する低所得者への臨時的な給付措置として臨時福祉給付金事業費4267万5千円と、子育て世帯への臨時的な給付措置として子育て世帯臨時特例給付金事業費1

081万4千円です。

また、平成27年度下水道事業特別会計の歳入・歳出をそれぞれ1220万6千円増額し、補正後の予算総額を4億8830万6千円としました。内容としては、舟戸マインホールポンプ場建設にあたり、施設管理委託料や建設事業補償金の増額、南那須処理区管渠工事に伴う設計業務委託料、管渠築造工事請負費を増額したためです。

さらに、平成27年度水道事業会計予算の資本的支出を832万7千円増額し、補正後の予算総額を3億497万4千円としました。主な内容は、伸長地内の主要地方道那須烏山矢板線の改修工事に伴い老朽化している給水管の布設替工事費と田野倉地内の配水管布設工事費の計上です。

条例の一部改正

▽情報公開請求に係る公開基準、保有個人情報開示請求に係る開示基準等の見直しに伴う所要の改正を行うため、市情報公開条例及び市個人情報保護条例の一部を改正しました。

▽地方税法等の一部を改正する法律などが、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市税条例の一部を改正しました。

また、国民健康保険税の減額の基準を見直すため、市国民健康保険条例の一部を改正しました。

▽鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の一部改正に伴い、市手数料条例の一部改正しました。▽地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律による

介護保険法の改正に伴い、市介護保険条例の一部改正しました。

▽児童福祉施設最低基準の一部を改正する省令及び家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正しました。

平成26年度 繰越明許費繰越計算書の報告

平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書を調製し、総合戦略推進事業費5702万円、商業振興対策費5205万1千円、道路整備費6272万1千円、河川総務費78万円、烏山小学校施設整備費1500万円を繰り越したことを報告しました。

また、平成26年度下水道事業特

人権擁護委員の人事

別会計繰越明許費繰越計算書について、公共下水道事業施設整備費1億4509万4千円を繰り越したことを報告しました。

人権擁護委員のうち、平成27年9月30日で任期満了となる栗正俊氏を引続き委員として任命したほか、福澤英子氏に代わり、新たに藤川伸一氏を任命しました。

その他

市議会議長あてに提出された「廃棄物処置施設設置等事業計画」に反対する請願書」を採択し、請願者へ通知しました。

また、提出された陳情書5件のうち、年金積立金の安全かつ確実な運用を求める陳情書」が採択され、関係行政庁あてに意見書を提

出しました。そのほか、2件を継続審査とし、2件を不採択としました。

議員発議により「那須烏山市へ（仮称）栃木県立県東部体育館の設置を求める意見書の提出について」を可決し、栃木県知事に意見書を提出しました。



27年度「第1四半期」4月～6月

那須烏山市教育委員会会報

■第5回教育委員会（4月24日）

- 平成27年度那須烏山市奨学生決定を承認
- 平成27年度那須烏山市立小中学校主任等を承認
- 平成27年度那須烏山市立小中学校評議員の委嘱を承認

■第7回教育委員会（6月23日）

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 那須烏山市指定文化財の解除及び名称変更を決定

○平成27年度市費非常勤講師等の配置を承認

- 那須烏山市生涯学習指導員の任命を承認

■第6回教育委員会（5月20日）

- 区域外就学の許可を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
- 那須烏山市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱を承認
- 平成27年度那須烏山市教育費予算の補正を決定
- 那須烏山市指定文化財の解除及び名称変更を審議会に諮問することを決定

▼4月8日（水） 中学校入学式

▼4月9日（木） 小学校入学式

▼4月10日（金） つくし幼稚園入園式

▼5月17日（日） 七合小春季運動会出席

▼5月29日（金） 平成27年度関東甲信越

静岡町村教育委員会連

合会総会及び研修会

（新潟大会）出席

▼5月30日（土） 荒川中・烏山中体育祭出席

▼6月6日（土） 江川小・境小・烏山小春季運動会出席

とちぎの百様

市内から4つが
選定されました。

県では、県民の郷土愛を育むとともに県のブランド力向上のために、栃木県内から100の地域資源を集めた「とちぎの百様を選定しました。本市からは、「那須烏山の山あげ祭」、「烏山和紙」、「龍門の滝」、「八溝そば」街道推進協議会や日光例幣使そば街道推進協議会、足利佐野めんめん街道推進協議会が合同選定で、「とちぎのそば」の4つが選ばれました。今後、県では、学校向け冊子や百様全集の作成、ホームページ、ガイドブックでの魅力の発信を行っていく予定です。

那須烏山の山あげ祭。



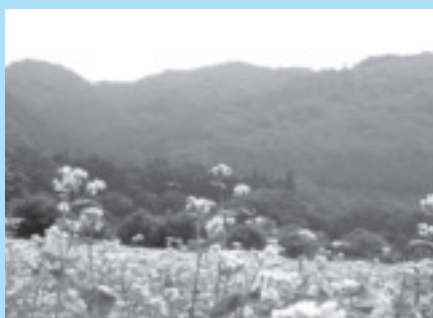
龍門の滝。



烏山和紙。



とちぎのそば。



なすから英語塾が開校

市教育委員会では、外国語指導員による市民向けの英会話教室「なすから英語塾」を開校しました。

これは、「市英語 Village（ビレッジ構想）」の一環で、烏山の山あげ行事がユネスコの無形文化遺産代表一覧への登録を見据え、本市への外国人観光客の増加が予想されることから、世界中で共用語として使われる英語に多くの市民が関心を持ち、楽しく学びながら生きた英会話を身につけてもらおうと始めたものです。

無料で受講できる同英語塾は、応募開始早々に80人の定員を超える人気ぶり。初級と中級の8クラスに分け、きめ細かい指導を目指します。

6月17日㈫に行われた開校式には、英語塾受講者や関係者など34人が参加しました。大谷市長が「子どもたちだけでなく、大人たちにも楽しみながら英語に馴染んでほしい。そして、外国人観光客に向けて市民全員が英語で『おもてなし』できるように今後も力を入れていきたい」とあいさつ。続いて、外国語指導員のリア・ダニエルさんが



わきあいあいとした雰囲気が進められる英語塾。

紹介されました。リアさんは、「これから皆さんと仲良くやっていきたいです」と滑らかな日本語であいさつしました。

そのほかに市教育委員会では、市内の中学校2校の1〜3年生約680人にNHKラジオ講座「基礎英語」の月間教材を無償で配り、自宅での学習を勧めるほか、英語検定の受験料の補助を実施しています。



外国語指導員
リア・ダニエルさん

リア・ダニエルさんは、アメリカ・オハイオ州シンシナティ生まれの28歳。最終学歴のシンシナティ大学では、アートヒストリー学を学び、文学修士学号を取得しました。同時に日本語も学び、今では簡単な日常会話を日本語で交わすほどです。趣味は、読書やランニング、生け花、フェンシング、スキューバダイビングと幅広く、チャレンジ精神旺盛です。

誰でも気軽に！まずは登録を！ デマンド交通をしよう

デマンド交通とは、予約制で利用できる乗り合い公共交通です。年齢や運転免許の取得等は関係なく、子どもからお年寄りまで誰でも利用することができます。

利用するためには、事前登録と乗車を希望する2週間前から30分前までの間に予約が必要となります。また、料金は、1回/片道大人300円、小人150円です。

登録方法

◇申込：きずなサービスセンターに申込書を直接または、郵送、FAXで提出。

または、市役所総合政策課まで直接提出してください。

◇申込用紙設置場所：烏山庁舎（総合政策課、市民課総合窓口）、南那須庁舎（市民課）、保健福祉センター（健康福祉課）、きずなサービスセンター、市内のタクシー業者

■問合せ
○きずなサービスセンター（金井2-1-11）

☎0287-82-8252

FAX0287-82-8262

総合政策課

☎0287-83-1112

神長地区で非常時に備える

自主防災組織で防災訓練

神長地区自主防災組織では、防災に関する知識や災害に対する心構えを再認識してもらおうと、5月31日(日)、那須烏山消防署で「防災訓練」が行われ、地域住民や消防団など約250人が参加しました。

訓練は、梅雨前線に伴う集中豪雨による災害を想定。午前9時に市が避難勧告を発令。消防団が広報周知活動を行い、各世帯から同消防署に避難しました。避難中には、救護班による怪我人や高齢者を想定した誘導訓練も行われました。

無事に避難した参加者は、消



ハイキングを楽しむ参加者。

防署員に指導を受けながら、消火器体験やAED講習会、起震車体験、煙体験などを行いました。



水消火器の体験をする子どもたち。

た。特に水消火器体験では、小さな子どもから高齢者まで上手に操作をしていました。



消防署員に心肺蘇生法の指導を受ける。

市民ハイキング

群馬県の赤城山へ

毎年恒例となった市民ハイキング(スポーツ推進委員会主催)が、6月7日(日)に開かれ、市民71人が日本百名山、日本百景の一つにも選ばれている群馬県の赤城山を登山し、さわやかな汗を流しました。

当日は、復古神道の遺物として市指定重要文化財とされる赤

城神社への参拝後、一周約4kmの覚満淵を散策、赤城公園ビジターセンター周辺で昼食をとりました。散策の途中には、山ツツジが咲き誇り、参加者の目を楽しませていました。

参加者は、一日を通して風景や会話を楽しみ、日頃の疲れをリフレッシュしました。

困ったときは消費生活センターにご相談を!

ご存知ですか? 市の消費生活センター

消費生活センターは、地方公共団体が運営する消費者のための相談業務を行う機関です。市消費生活センターでは、悪質商法による被害や商品事故の苦情など、衣・食・住など消費生活に関する商品・サービスへの相談を受け付けています。その他、消費被害の未然防止のための各種パンフレットや資料の提供、講座の開催などの普及啓発活動を行っています。

消費生活専門相談員などの資格を持った相談員が、一緒に問題解決の方法を考えますので、気軽に

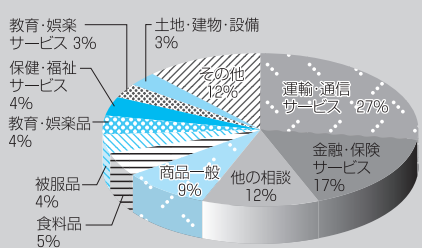
ご相談ください。対象は、市内在住・在職・在学の人です。相談は無料で、主に電話や来所で受け付けています。来所の場合は、市役所烏山庁舎1階(商工観光課内)へお越しください。

最近の傾向としては、架空請求・不当請求に関する相談、訪問販売など特殊販売に関する悪質商法についての相談、そして、公的機関の名を騙った還付金詐欺など振り込め詐欺の相談が数多く見られます。昨年度は、市消費生活センターに年間108件の相談が寄せられました。

「おかしい」「困ったな」と思ったら、1人で悩まずお気軽に市の消費生活センターにすぐご連絡ください。

那須烏山市消費生活センター

平成26年度 相談受付状況 (相談件数108件)



注意! ~被害にあわないために~
 ◆「私も騙されるかも」と警戒を
 ◆離れて暮らす家族と常に連絡を
 ◆慌てず、身近な人にまず相談

那須烏山市 消費生活センター
 (那須烏山市役所烏山庁舎1階)
消費生活ホットライン
 電話番号**188(イヤヤ!)**
 または **0287-83-1014**
 (受付時間) 平日午前9時~12時
 午後1時~4時30分
 (土・日・祝日・年末年始を除く)